

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	カリフォルニア州立大学 地域活性化の体験型学習と実践英語プログラム(基礎/応用)	
学部・研究科名	グローバル教育推進センター	
プログラム 実施期間	2019年8月29日～9月20日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ カリフォルニア州 チコ市	
参加学生数	22名	知の森からの支援者数 15名
プログラム概要	交流協定校である、カリフォルニア州立大学チコ校と協同で企画・実施した3週間のプログラム。信州大学が社会から高い評価を得ている「地域貢献・地域活性化」を課題対照として取り上げ、地域に根ざした企業や農場の見学や専門家によるレクチャーによりカリフォルニアの地域産業を学び、グローバルな視点で問題解決にあたるための基礎力を養成するほか、細やかなレベル分けによる英語授業により語学力を高める。また、「基礎コース」では、派遣校で日本語を学ぶ学生との交流により異文化理解や国際感覚の習得を目指すほか、本年度新設の「応用コース」では、より高度な学習を望み要件を満たす学生にプロジェクト型研修の機会を与え、グローバル社会で貢献できる人材として求められる実践的スキルを養成する。	

実施状況・成果

- ・地域活性化に関して日本国内の事例を調べるなどの事前学習を行った後、現地の英語ネイティブの環境の中で、専門家からのレクチャーを受けました。現地校周辺の食品関連企業・農場等を見学することによって「地域活性化」を体験的に学習し、自文化・社会との相違点や共通点を見出し、ローカルとグローバル双方の視点を得て、地に足のついた課題発見力と問題解決力を養うことができました。研修後のアンケートで参加した約9割が研修の内容について「満足」ないし「ほぼ満足」と回答している。
- ・英語授業は研修校附属語学学校(ALCI)にて細かなレベル分け(7段階)により、参加者のレベルに合ったクラスに参加し、国際色豊かなクラスメイトとともに英語スキルを向上させることができました。英語クラスは、基礎コースがスピーキングとリスニング、応用コースがスピーキングと応用コース向け特別クラス“Survival English”で構成。共通のスピーキングでのレベル分けは「6/7」が4名、「5」が10名、「4」が8名。リスニング(基礎)は「6/7」が3名、「5」が9名、「4」が6名。共通のスピーキングで8名が「A」、10名が「A-」、2名が「B+」、2名が「B」を獲得した。
- ・「基礎コース」では、現地学生向けの日本語授業に複数回に亘って参加し、現地学生とチームを組んで課題に取り組み発表する活動を通じて、英語に慣れ親しむことに加えて異文化理解を進められた点で参加者の得るものが大きかった。帰国後のアンケートでは、全員が「満足」か「ほぼ満足」と肯定的に回答している。
- ・「応用コース」では、派遣先大学の農学部で授業に参加し、現地学生とパートナーを組んで調査・発表を行った。今年度のテーマは「持続可能な発展と環境クズネット曲線」についてで、各チームはドイツ、ブラジル、中国に関して調査して発表を行った。研修後のアンケートでは、「事前課題のおかげで授業についていくことが出来たと感じます。途中、専門用語等がでてきた場面では苦戦しました」や「レベルの高い授業であったが、教授が理解しやすいように図表を多く使用してくれ、わかりやすかった」など、難易度は高くも充実した研修内容だったことがうかがえる。
- ・今年度から導入した「授業聴講」では各参加者が興味のあるチコ校の授業を聴講することができた。研修後のアンケートでは、「多くの生徒が挙手をして意見を述べており、とても積極的だと思った」や「やはり聞き取りは困難だったが、授業形態もよくわかって学生も教授もオープンマインドでよかった」と、内容は難しくも大いに刺激を受けている意見が多かった。
- ・滞在はチコ市内の一般家庭へのホームステイであり、ホストファミリーとの日常的な会話に自然な英語表現を身につけることができた。「非常に親切なホストファミリーでした。何人も留学生を受け入れていることもあり、自分が英語をうまく話せないことも理解してくれました。」との感想もあった。
- ・「今後の留学を考えていますか？」の質問には8割が「考えている」と答えており、今後の長期留学やグローバルレベルでのキャリア形成について具体的に考え、行動するきっかけとなったことが伺える。実際、今回の研修後に大学間交換留学制度を利用してチコ校に2名の学生が派遣される予定となっている。

学生の声①-工学部 学生

【基礎コース参加学生】

最初は、全部が英語でうまく話すことができなく、理解も難しかったが、時間が経つにつれて英語を少しずつ理解出来るようになり楽しくなっていた。

学生の声②-農学部 学生

【応用コース参加学生】

この研修を通じて得られた成果として最も自分にとって大きかったのは、異なる文化や価値観について知り、日本では当たり前前だとは限らないことに気が付いたことである。また、ホストファミリーと一緒に過ごしたり、英語の授業を受けて、聞き取る力や話す力が少しついたように思う。

学生交流の様子



修了式の様子

